



主力製品（配線器具）

- 本社所在地：東京都品川区
- 事業概要：配線器具等の製造・販売
- 常時使用する従業員：170名
(2026年5月時点)
- 現在の売上高：84億円
(2025年5月期)
- 法人番号：1010701005543
- Web：
<https://www.yamatodenki.com>

大和電器株式会社（製造業）

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
齋藤 俊彦

BEYOND 100⇒（目指せ100年＆100億企業）

当社は創業以来80年にわたり、配線器具メーカーとして「電気を安全に使う」という社会的使命と向き合ってきました。その歩みの中で、トラッキング火災を防止するシャッター付き配線器具や、感震ブレーカー「震太郎」など、防火・防災に関わる製品開発も続けてきました。近年では、リチウムイオンバッテリー火災など、新たな社会課題への対応も求められています。現在、当社の売上高は84億円規模となりましたが、私たちは100億円という数字を単なる通過点とは考えておりません。100億円企業への挑戦とは、より多くのお客様の安全を守り、より大きな社会的責任を果たすための挑戦であると考えています。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2028年での売上高100億円達成に向け、年売上成長額5億円程度の成長を目指す。

2026年	88億円
2027年	95億円
2028年	100億円

課題

- ①既存事業
現在の配線器具市場は成熟市場となっており、価格競争が激しくなっています。また、配線器具は、オフィス、住宅建築の市況に左右されるため、高付加価値化及び新市場の開拓が重要となる。
- ②新規事業（消火・防火製品等）
リチウムバッテリーの発火が社会問題になるなか、今後成長が見込まれる消火・防火に関連する市場の開拓が重要となる。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ①既存事業（配線器具等）
配線器具の中でも成長が見込まれるデータセンター向けのコンセントバーの販売を強化していく。
- ②既存事業（ハーネス等）
AIの進化に伴う半導体製造装置の需要拡大に合わせて、ハーネス生産能力（秩父工場）を高めて売上増を目指す。
- ③新規事業（消火・防火製品等）
韓国のGFIと提携し、同社の消火・防火製品を日本市場で販売し、売上増を目指す。

実施体制

当社では、売上高100億円の実現に向け、代表取締役社長を中心に、全社横断型で成長戦略を推進する。既存事業強化、GFI事業（防火・防災事業）推進、新規事業開発し、各部門責任者のもとKPI管理を行う。また、毎月開催する取締役会において、進捗管理、課題抽出、投資判断を実施し、PDCAを継続的に運用する。さらに、金融機関、外部専門家、海外パートナー企業等との連携を強化し、成長戦略の実現を加速させる。

売上高100億円実現のスケジュール

